

ゆうちょ お金のちしき

楽しく学んで、身につけよう！

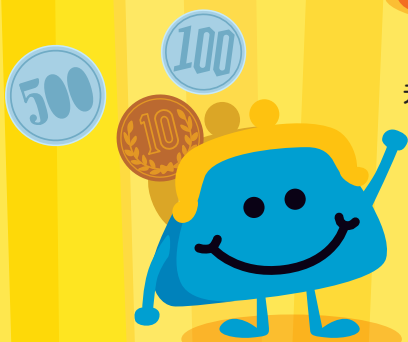
小学校
3・4年生用
きょうざい
教材



ゆうたくん
元気でこうきしんいっぱい



ちよちゃん
しっかりものでやさしい



おさいふぼーや



ワンダーせんせい
お金のことならおまかせ



カードくん



ゆうちょ銀行

1

お金の働きとは？ お金はどこからくるの？



おおむかし ^{もの} ^{もの}
大昔はほしい物とほしい物を交かんしていたそうだけど、
なぜお金を使うようになったんだろう？



^{もの} ^{もの}
物と物の交かんだと、うまくいかないことがあったんじゃない？



今ではお金があるから、いろいろな物と交かんできるね。
物だけでなくサービスにも使えるし、使うときまで貯めておくこともできるね。



お魚とお肉にねだんがついていれば、
それぞれどのくらいの量を交かんすれば等しいかが分かるわ。
お金は、物やサービスの良さや大切さ(かち)を表すこともできるのね。



お金がとても便利なものであることがわかったかな？

お金には3つの働きがあるんだ。

- ① ^{もの}物やサービスと交かんできる。
- ② ^た貯めておける(よ金・貯金)。
- ③ ^{もの}物やサービスの良さや大切さ(かち)を表す。

今では電子マネー※というお金も使われているよ。

※カードの中にお金がいくら入っているかというじょうほうが記おくされていて、使(つか)ったときにその分のお金が引かれる仕組(しく)みになっています。こう貸(か)や紙(か)へいと同じように、物(もの)やサービスと交かんできます。

1

お金の働きとは？ お金はどこからくるの？



お金って便利だね。どうしたら手に入れられるんだろう？



ゆうたくんのお家にどのようにお金が来たかを見てみよう！



ぼくの家はお花屋さんで、お家の人は毎日そこで働いているよ。



お家の人は仕事をしてお金をもらっているんだね。お客さんのパン屋さんがゆうたくんのお家の花屋さんではらったお金も、ゆうたくんのお家の人ががんばって働いて手に入れたものだよ。

まとめ

交かんするのに便利なようにつくられたお金は、
感しゃの気持ちといっしょに世の中を回っている。
お金は、働いてもらえる、かぎりのある大切なもの。
だからどのように使うかをよく考えよう！

2

ほしい物と必要な物



お金っていろいろな物と交かんできるから、「ほしい物」がいっぱい買えるね。



ちょっとまって。「ほしい物」ばかり買っていたら、生活に「必要な物」を買うときに
お金が足りなくなるかもしれないよ。



いいことに気付いたね。お金にはかぎりがあるんだ。



夕飯のハンバーグを作るための材料を買うから、消しゴムだけ
買ってあげる、おもちゃはまた今度ねと言われちゃった。



大人は毎日の食べ物だけでなく、水道・電気、服など
いろいろな物にお金を使っているよ。
生活に「必要な物」が買えないとこまるから、
「ほしい物」をがまんすることもあるんだ。みんなもお金を使
うときは、先に何を買った方がよいかを考えてみよう。

2

ほしい物と必要な物



ひつようもの
「必要な物」って何だろう？



お金を何に^{つか}使っているか見てみようよ。



ないとこまってしまうものが「必要な物」だね。



お家の人がはらっているから^{きづ}気付かなかったけれど、水道や電気にもお金がかかるのね。生活に「必要な物」ってたくさんあるわ。



ぼくたちが買う物^{もの}の中にも、ノートや消しゴムなど、ないとこまる物^{もの}があるよ。ジュースやおかしは「ほしい物^{もの}」だけど、これもたまには買いたいなあ。



「必要な物^{ひつようもの}」「ほしい物^{ほしいもの}」がいくらで、例えば1か月にどのくらいのお金^{お金}が使えるかが分かったら、「ほしい物^{ほしいもの}」も買えるかもね。お金の^{つか}使い方をよく考えることが大切だよ。

まとめ

毎日、安心^{あんしん}して過ごすためには、お金の^{つか}使い方を工夫^{かた}することが大事^{だいじ}。生活に「必要な物^{ひつようもの}」はまず買わないとこまるので、「ほしい物^{ほしいもの}」については何に・いつ・いくら使うかをよく考えて、かぎりあるお金を上手^{つか}に使えるようになろう。

3

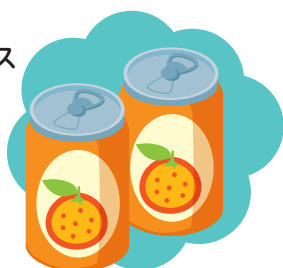
物のねだんを知る



この間、おばあちゃんが家に来て、おこづかいをくれたんだ。好きな物を買いなさいって。ぼく、「ほしい物」やしたいことがいっぱいあるんだ。



ジュース

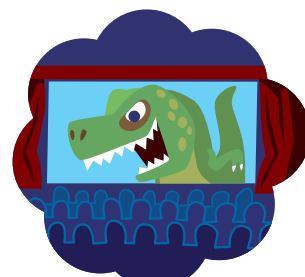


ゲーム



サッカーボール

ほしい物いっぱいあるよ!



えいが



ゆうえんち
遊園地



ケーキ



そんなにたくさんお金を使ってしまうと、いくらになるかしら?
全部をすぐにはかなえるのは無理だと思うよ。この間、ゲームソフトを買ってもらって
いたし、がまんできるものはがまんしないとね。



よく考えてお金を使うためには、
何がいくらかを知っておこうね。
せっかくおばあちゃんがくれた大切なおこづかい。
上手に使わないと、あっという間になくなってしまうよ。
まずは物のねだんを考えてみよう。

3



これ、いくらかな?

それぞれの物がいくらかを考えて書いてみよう。



ねだん



ねだん



ねだん



ねだん



ねだん



ねだん



ねだん



ねだん



ねだん



ねだん



ねだん



ねだん



それぞれの物のねだんがすぐに分かったかな?

同じような物でも、作った会社や売っているお店、季節によってねだんがちがうこともあるよ。買い物をするときは、いろいろなお店でねだんをくらべてみよう。

まとめ

ふだんの買い物のときから、物のねだんを気にしてみよう。
何が必要な物か、どれだけのお金がかかるか分かるようになると、おこづかいの使い方を決めることができ、買い物上手になるよ。

4

おこづかいの つかかた 使い方を考える



もしお金を上手に使えるなら、毎月決まったおこづかいを
あげてもいいってお家の人言うんだけど、
どうしたら上手に使えるかな？



わたしはお手伝いをして、毎月200円もらっているの。
今、絵本を買うために、おこづかいの中から
少しずつ貯金しているんだ。
毎月、使い切るのではなく、お金を貯めて使えるように
なるといいのかも。



ずっとほしかったサッカーボールも、おこづかいを貯めれば買えるかな。
お家の人たん生日にも、おこづかいを貯めて何かプレゼントしたいなあ。



おこづかいを
貯めて
買いたいなあ。



おかしや文ぼう具などの「ふだん使うお金」のほかに、
少しずつ貯めておけば、すぐには買えない物もいつか
買えるようになるよ。

こうして貯めておくお金は

「あとで使うお金 (=貯金)」だね。

4



おこづかいの つかかた 使い方を考える

毎月のおこづかいが500円だとしたら、
そのうちの100円を貯金してみよう。
さあ、お家の人のたん生日プレゼントは何を買おう？

●貯金の計画

ひと月の貯金かく		いくら貯金できたかな？	
1か月目	100円		円
2か月目	100円	合計	円
3か月目	100円	合計	円
4か月目	100円	合計	円
5か月目	100円	合計	円
6か月目	100円	合計	円

●貯金したお金で、
たん生日プレゼントに何を買おうかな？

●そのたん生日プレゼントはいくら？

 円

完成したら発表してみよう。

まとめ

お金を使う前には、どのように使うかを計画してみよう。
おこづかいは、お家の人が働いて手に入れた大切なお金。
「ふだん使うお金」のほかに、「あとで使うお金」として
貯金をして、上手にお金を管理できるようになろう。
これを身につけたら、きっとお家の人もまかせて
だいじょうぶだと思ってくれるはず。

5

お金はどこに貯める？



大変!! おこづかいを入れておいたおさいふを落としちゃった。



それは大変! 持ち歩くのは使う分だけにして、後は貯金箱へ貯めておくといいよ。



貯金箱のほかに、銀行にあずける方法もある。
それをよ金や貯金というんだ。お金は使わない間は銀行にあずけておいて、必要になったら引き出して使えるよ。



お金は大切なものだから、無くさないようにきちんと管理しようね。銀行に貯金すると手元がないから無くさないし、貯めるはずのお金を使ってしまうこともないよ。
貯金したお金を引き出すときは、通帳※1と印かん※2やキャッシュカード※3が必要になるから無くさないようにしっかり管理しようね。



※1: だれのお金をいくらあずかっているか、いつあずけたか引き出したかを記録(きろく)する帳面(ちやうめん)。

※2: 銀行(ぎんこう)にこうざを開(ひら)く手続(てつづ)きをしたときに書類(しよるい)におしたはんこのこと。

※3: 銀行(ぎんこう)などにこうざを作ると発行(はっこう)されるカード。機械(きかい)を使(つか)ってげん金をあずけたり引き出したりすることができる。

5

お金はどこに貯める？



銀行に貯金してしまうと手元にないから、なんか不安だな。



銀行に貯金すると何かいいことあるのかしら？ そのお金はどうなるんだろう？



銀行はただあずかっているだけではないんだよ。



銀行にあずけるとそのお金が社会で役に立つので、ありがたいの意味で少しお金を多くしてくれるんだ。そのふえた分のことを利子※と言うよ。銀行にあずけると、かんたんに使ってしまうこともないし、落としたりぬすまれることもふせげるよ。

まとめ

お金を使うだけでなく、貯金することも考えてみましょう。銀行はただお金をあずかるのではなく、集めたお金を必要な人にかしている。自分で使わない間、社会に役立てることができるというわけ。お金を手元に置くだけでなく、上手に銀行を利用してみよう。

※銀行(ぎんこう)はあずかったお金を他(ほか)の人や会社にかし出し、少しお金を足して返(かえ)してもらいます。そしてお金をあずけた人のお金に少し足してふやします。この足した分のお金を利子(りし)と言います。